



Title	a+a 美学研究 第12号 奥付
Author(s)	
Citation	a+a 美学研究. 2018, 12
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/90125
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

査読について

本号に収録された論文のうち、石田圭子、海老根剛、柿木伸之、梶原将志各氏の論文は、2017年9月11日に大阪大学中之島センターで開催されたシンポジウム「シアトロクラシー——観客の美学と政治学」における口頭発表に基づく。本号への寄稿にさいしては、シンポジウム司会の田中均をふくめた5人での輪読および編集委員による査読を行った。井上由里子、田之頭一知、土田耕督各氏の論文は、編集委員による査読を行った。

a+a 美学研究

第12号

発行日 2018年3月31日

編集委員 田中 均
高安啓介
土田耕督
河口 篤
西影めぐみ
吉野裕太

編集・発行 大阪大学大学院文学研究科美学研究室
〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

装丁・組版 松本久木

印刷・製本 株式会社ケーエスアイ

©2018 大阪大学美学研究室

Printed in Japan

ISSN 1346-1095

『a+a 美学研究』は、美学の知をより多くの方々と共に共有できることを目指しています。新しい研究を紹介する学術雑誌としての機能を保ちながら、美学への理解を深めたい学生にとっても、芸術に興味のある読者にとっても、知の道標となるような特集をこれから組んでいきます。捨てられないように、1冊の本のような価値のある冊子にしてゆきます。大阪大学美学研究室は、この雑誌の編集にあたって、コミュニケーションの様態への関心から、知の内容だけでなく知の形式についても反省をめぐらし、見出された知見がいかに社会のうちに浸透していくのか、重要と思われる事柄がいかに社会のうちに共有されるのか、美学の思考をそこまで駆り立ててみたいと思います。